

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第4部門第1区分

【発行日】平成29年3月9日(2017.3.9)

【公開番号】特開2015-178754(P2015-178754A)

【公開日】平成27年10月8日(2015.10.8)

【年通号数】公開・登録公報2015-063

【出願番号】特願2014-57398(P2014-57398)

【国際特許分類】

E 03 C 1/05 (2006.01)

A 47 K 1/00 (2006.01)

【F I】

E 03 C 1/05

A 47 K 1/00 J

【手続補正書】

【提出日】平成29年2月3日(2017.2.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

水を吐水するための吐水口を有する吐水部と、

前記吐水口から吐出された水を受けると共に、排水口を介して前記水を排水管に排出する洗面台又はキッチンのボウル部と、

放射した電波を放射させてその反射波を受信し、前記反射波に基づいて検知信号を出力するセンサ部と、

前記検知信号に基づいて、前記吐水口からの吐水及び止水を制御する制御部と、を備えた吐水装置であって、

前記ボウル部は、前記ボウル部から前記水が溢れることを防止するためのオーバーフローが形成され、前記オーバーフローに流入した前記水を前記排水管に導くためのオーバーフロー管を有し、

前記センサ部は、前記オーバーフロー管の内部を介して前記ボウル部の内部に電波を放射する位置に配置され、前記オーバーフロー管の内部が所定の状態である場合に所定の前記検知信号を出力することを特徴とする洗面台又はキッチンにおける吐水装置。

【請求項2】

前記センサ部は、前記オーバーフロー管の内部を前記水が流れる状態である場合に、当該状態に対応する前記検知信号が出力することを特徴とする請求項1に記載の洗面台又はキッチンにおける吐水装置。

【請求項3】

前記制御部は、前記オーバーフロー管の内部を流れる前記水が第1の流量を超えた場合に、前記吐水部から吐水される前記水の流量を減少させるように制御することを特徴とする請求項2に記載の洗面台又はキッチンにおける吐水装置。

【請求項4】

前記制御部は、前記オーバーフロー管の内部を流れる前記水が第2の流量を超えた場合に、前記吐水部から吐水される前記水を止水させるように制御することを特徴とする請求項3に記載の洗面台又はキッチンにおける吐水装置。

【請求項5】

前記制御部は、前記オーバーフロー管の内部を前記水が流れたと判断した閾値を記憶し、所定の期間が経過した後に前記閾値を補正することを特徴とする請求項1乃至請求項4の何れか1項に記載の洗面台又はキッチンにおける吐水装置。